



# 北九州市の「暮らしやすさ」「住みやすさ」

北九州市は、豊かな自然と充実した都市インフラが融合したまちです。人々の暮らしに合わせた行政サービスも充実しており、都市の快適さと自然を感じながら、ずっと住み続けたい魅力があります。



住み続けたい理由 | 01

“ 子どもも高齢者も安心して楽しく暮らせる ”

「次世代育成環境ランキング」で11年連続政令指定都市第1位(令和3年度)の評価が示すとおり、北九州市は子育て環境が充実しています。(P9-10参照)また、女性の活躍を推進し、仕事と子育てとの両立支援にも力を入れています。

さらに、政令指定都市で高齢化率トップである本市は、高齢者も生き生きと安心して暮らすことができるまちでもあります。

健康寿命を延伸し、高齢期に至っても、誰もが地域とのつながりを持ち、住み慣れた地域で、人生の最期まで健やかに安心して暮らせる共生のまちを目指して、「第2次北九州市いきいき長寿プラン」に基づき、さまざまな取り組みを進めています。また、国家戦略特区制度を活用した介護ロボット導入により、安定的な介護サービスの提供に向けて取り組むなど、医療、介護との連携強化をはじめ、高齢者が安心して暮らすことのできる環境づくりを行っています。

## ウーマンワークカフェ北九州

女性の就業支援の拠点として、就職相談やキャリアアップ、起業・創業相談、保育サービスに関する情報提供など、ワンストップで総合的にサポートしています。



## 移住者インタビュー



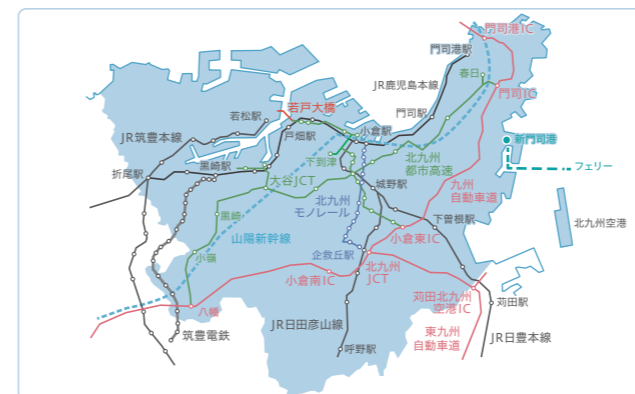
中安 加織さん

北九州に移住してきたのは、40歳前後で夫婦ともにキャリアシフトしたのがきっかけです。住まいの家賃は2/3、広さは1.5倍となり、念願だった仕事部屋と子供部屋ができました！北九州は時間がゆったり、空間にもゆとりがあるため、心のゆとりもできた気がします。

そして、想像以上に良かったことは、子どもの遊び場がいっぱいあること！以前は、休みの日が来る度にどこへ行くか頭を悩ませていましたが、北九州は選択肢が豊富でどこも施設が充実♪子ども医療費助成も手厚く、子育て世代にもとてもオススメの場所ですよ！

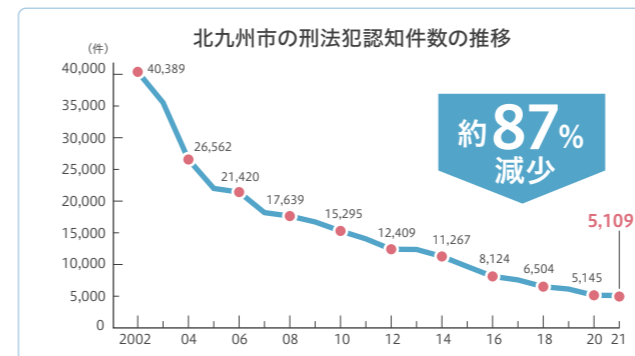
## 交通手段が充実したコンパクトなまち

公共交通機関が充実しているため、通勤・通学、買い物など、どこへ行くのも便利です。また、新幹線や飛行機、フェリーを使用することができるので、国内や海外へアクセスも容易です。



## 刑法犯認知件数はピーク時の87%減

2021年の刑法犯の認知件数は5,109件と、最も多かった2002年の40,389件から約87%減少しています。



## お試し居住

移住を検討している方を対象に、本市での暮らしを実体験してもらう事業です。最短2泊3日から最大2週間滞在することができます。移住コーディネーターによる手厚いサポートで、本市の魅力を実感してもらい、移住のための支援を行っています。



住み続けたい理由 | 02

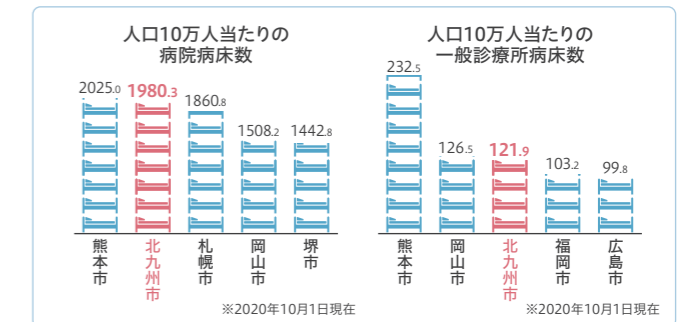
“ デジタルで快適・便利な幸せなまちへ ”

「書かない」「待たない」「行かなくていい」市民サービスの提供に向け、手続きのオンライン化をはじめデジタル・トランスフォーメーション(DX)に取り組んでいます。

また、産業の持続的発展を目指した民間企業のDXや、若者・女性・高齢者など、幅広い市民の活躍の可能性を広げるためのデジタル人材の育成・就業支援、介護分野のDXなど、市全体でDXを推進していきます。

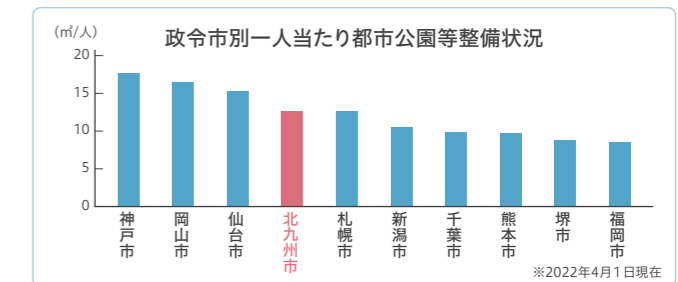
## もしものときに心強い、充実した医療体制

北九州市の人口10万人当たりの病床数は、政令指定都市の中で、病院が第2位、診療所は第3位と、医療機関・病床ともに十分確保されています。また、一刻を争う救急車で搬送は、119番受信から病院到着までの時間が32.3分と、全国の大都市でトップクラスの早さとなっています。



## 一人当たりの都市公園面積は12.9㎡

北九州市の都市公園数は1,719カ所、一人当たりの都市公園面積は12.9㎡で、政令指定都市の中では第4位。老朽化した身近な公園も、地域住民とワークショップ形式で再整備計画を作り、地域ニーズに応じた公園に生まれ変わっています。



本市の「中小企業のDX支援加速化」の取り組みは、全国の地方公共団体を対象にした、「夏のDigi田甲子園」において、指定都市・中核市等での実装部門で優勝し、初代日本一として内閣総理大臣から表彰されました。

